

佐渡米通信 **こめ〜る** 24.12



↑カメラの後ろには、たらい舟に乗って記念撮影できるスペースも・・・。

佐渡フェアを上野で開催

JR 上野駅グランドコンコースにて佐渡の物産市（うまさぎっしり新潟「佐渡来いっちゃ市場」）が2日間開催されました。たくさんの方に佐渡の魅力を知ってもらう事を目的とし、佐渡の新米や旬の果菜類や加工品を販売したほか観光PRも行われました。連日多くの方で賑わい、特にいちじく・おけさ柿やあんぼ柿、いごねり等が売り切れとなってしまいう程の盛況振りでした。

一方で「佐渡ってどの県にあるの」「佐渡でお米が作れるの」などの声も・・・。佐渡は見所がたくさんあるのですが、認知度はまだまだ低いようです。佐渡のお米や物産品の販売を通してより皆さんに佐渡の魅力を伝えていこうと思います。

「収穫祭」が行われました！

実りの秋に kids 生きもの調査隊の収穫祭が行われました。この催しは子供たちが田植えから草取り・稲の刈り取りまで自分たちの手で世話した田んぼで収穫したお米を味わうもの。小雨降る天気でしたが、約20名の子供たちは、生きもの・田んぼの勉強、田んぼのスケッチなどの勉強会を行い、最後にご飯を食べて、農作業の仕方を教えてくれた農家の人に感謝しつつ、ご飯を食べました。



↑白飯のほか、栗ご飯・きのこご飯・豚汁も振舞われました。



↑ ふれあいアッセのようす
さどっ粉で作ったお菓子やパン、佐渡牛の串焼き・おけさ柿の販売等が行われました。

ふれあいアッセ開催

今年で16回目となる「佐渡ふれあいアッセまつり」が行われ、佐渡島内からたくさんの方においでいただき、大変賑わいました。このお祭りは、JA 佐渡グループ会社・各社と市場が協力し合い、佐渡の美味しい農産物や加工品を広くアピールするイベントとして毎年行われているものです。

当日は地場産品各種の販売店が立ち並び、通常よりも安くご提供されました。開店時にはすぐ駐車場が満車になるほどの盛況ぶりでした。

トキ情報

36年ぶりに自然界で誕生した朱鷺のヒナが初めて佐渡の冬を迎えます。冬は積雪により餌であるミミズやカエルが捕まえにくくなります。また天敵である猛禽類やテンにとっても餌不足になることから、トキが襲われる可能性が高く、その生存率は5割程度とも言われています。こうしたことから島内では、冬でも田んぼに水を溜め、水生動物が棲める環境づくりを行っています。今年誕生した幼鳥も、母鳥や家族にエサが豊富な場所を覚えてもらいながら、厳しい冬を乗り越えていってほしいと思います。



編集人：佐渡農業協同組合
営農部米穀課 渡部・古城(ふるき)
beikokuka.hanbai@ja-sado-niigata.or.jp
発効日：平成24年11月